

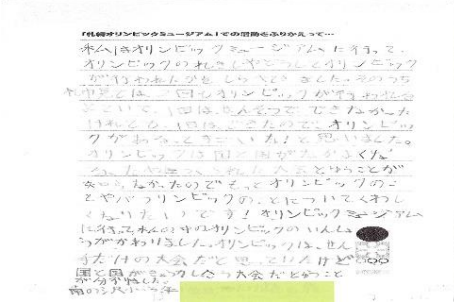
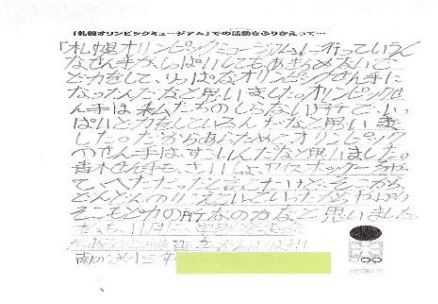
平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【札幌市】

1 実践テーマ	【 I・III 】
2 実施対象者	札幌市立南の沢小学校 第3学年 76名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	札幌市が2030年の冬季オリンピック・パラリンピック立候補の意向を示していることをきっかけに、 ・オリンピック・パラリンピックの理解を深めるとともに、生涯スポーツとしてのウィンタースポーツに親しむ意識を育てる。 ・オリンピック、パラリンピックから開催を通して、札幌のまちづくりや国際交流の在り方についての考えをもつ。
5 取組内容	○指導計画【10時間扱い】 ・オリンピック・パラリンピックについて調べよう（2時間） ・札幌オリンピックミュージアム体験見学（4時間） ・2030 札幌オリンピック・パラリンピック実行計画をつくろう（1時間） ・南の沢冬季オリンピックをしよう（3時間） ○取組の様子  【オリンピック 女子アイスホッケー青木香奈枝選手の講演】  【学芸員の方により冬季オリンピックの歴史の解説】

	 【スポーツシュミレーション体験】  【大倉山ジャンプ競技場での札幌市の様子とオリンピックレガシーの見学】   【見学体験後の児童の振り返り】
6 主な成果	- 札幌市作成の「私たちのまち札幌とオリンピック・パラリンピック」の資料を活用しながら、オリンピックやパラリンピックについての基本的な理解や興味関心を高めた。 - 札幌オリンピックミュージアムでのオリンピック青木さんの講演を通して、努力の大切さや仲間との絆について学ぶことができた。 - 札幌オリンピックミュージアムや大倉山ジャンプ競技場の見学を通して、体験的にオリンピックについて理解を深められたのと同時に、札幌市のまちの様子、オリンピックとまちの発展の関連について理解することができた。 2030年立候補予定のオリンピック・パラリンピックについて、小学校3年生なりに「こんなオリンピック・パラリンピックだったら…」とそのイメージと開催への期待感をもつことができた。
7 実践において工夫した点	
8 主な課題等	- 札幌ウィンタースポーツミュージアムにおいて、ウィンタースポーツ体験は十分であったが、児童がオリンピック、パラリンピックについて主体的に調べるなどの調査活動をする時間が十分ではなかった。 - 小学校3年生という発達段階的に、オリンピック・パラリンピックを総合的に理解することが難しかった。その意味でも、プログラムにバリエーションがあるとよいと感じた。
9 今後の取組について	今回の学習、活動を生かし、今後、社会科や総合的な学習の時間における国際理解において、オリンピック・パラリンピックを活用した教材化を行っていく。